

畜産ネットワーク ちば

2024年5月27日

第60号

発行所 公益社団法人千葉県畜産協会

〒260-0021

千葉市中央区新宿1-2-3

K&T千葉ビル3階

発行人 森 英介

新年度を迎えてのごあいさつ



千葉県農林水産部長
前田 敏也

昨年度に引き続き、農林水産部長を務めます、前田でございます。

畜産協会の会員及び畜産関係の皆様には、日頃から本県畜産の振興に御理解・御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本県畜産産出額は全国第8位で、首都圏を中心とした畜産物の供給基地の役割を担っております。しかし、経営戸数・飼養頭数は年々減少し、国際情勢の悪化による物価の高騰、それによって引き起こされる生産コストの増大が収益性の悪化につながっており、生産基盤の強化が課題となっているところです。

また、高病原性鳥インフルエンザについては、昨年度、国内においては9県で発生があり、およそ80万羽が殺処分されました。豚熱においても、引き続き野生イノシシでの感染がみられます。さらに、近隣諸国ではアフリカ豚熱も発生しており、日本への侵入が懸念されております。家畜伝染病発生リスクが高まる中、防疫体制の強化がますます重要視されているところです。

このような状況下、県では、千葉県農林水産業振興計画（計画年度：令和4～令和7年度）に基づき、多様な畜産経営の実現に取り組むこととしており、令和6年度は主に次の施策を推進してまいります。

1 家畜の生産性・ブランド力の向上と労働環境の改善

乳用牛や肉用牛の生産性向上を図るため、ゲノミック評価や受精卵移植の活用により優良な家畜を確保・育成するとともに、牛肉の脂肪の質を分析し肉質改善につなげることで、ブランド力の向上を目指します。また、労働環境の改善のため、スマート農業技術の導入により、作業の省力化を推進します。

2 自給飼料等の生産・利用拡大

輸入飼料に過度に依存しない畜産経営のため、「耕畜連携」による飼料用米や稲ホールクroppサイレージなどの活用促進、二期作・二毛作の推進、家畜伝染病予防法に規定される埋却の候補地を利用した飼料作物の生産促進、コントラクターの活用等により自給飼料の生産・利用拡大を推進します。

3 県産畜産物の販売促進

関係団体等と連携して、県産畜産物のPR活動を行います。また、効果的な情報発信により県産畜産物の販路を開拓するとともに、消費者の購入機会を拡大します。

4 家畜伝染病に対する防疫体制の強化

県における家畜防疫の拠点となる家畜保健衛生所の機能強化を目的とした再編整備を進め、畜産密集地域における迅速な防疫体制の確立を図ります。

これらの県施策の推進につきまして、今後とも御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

最後になりますが、会員及び関係者の皆様の御健勝並びに本県畜産の益々の御発展を祈念申し上げます。年度当初の挨拶とさせていただきます。

令和5年度第2回通常理事会開催

令和6年3月4日、プラザ菜の花（千葉市）において、森会長出席のもと令和5年度通常理事会を開催、令和6年度事業計画及び収支予算について等全3議案を上程し原案どおり承認されました。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが5類に移行され、生活が通常に戻ってきました。しかし一方で、ロシアによるウクライナ侵攻が続き食料やエネルギーの供給は依然不安定で、加えて円安の継続によって、輸入飼料がかつてないほどに高騰しました。一昨年に引き続き畜産業界が大きく影響を受けた年となりました。

今年も引き続き予断を許さない状況が見込まれることから、これまでの事業を確実に推進するとともに、これからの畜産経営の姿を見据えて、早急に対応すべき課題については従来事業をより重点化する部分を明確にして展開し、場合によっては新たな事業創出も必要になってくると考えられます。

具体的には、正確な生産技術に立脚した経営指導を基本としながら、畜産経営の高収益化やスマート化の促進、慢性疾病の抑制や悪性疾病の発生予防及びまん延防止対策、農場HACCPの推進、県産畜産物の需要拡大などに重点的に取り組むとともに、国の制度に基づく肉用子牛生産者補給金制度や肉用牛肥育経営安定交付金制度などの各制度の適切な運用、家畜改良及び技術向上を目的とした研修会や共進会などと併せて各種情報発信についても県や関連団体と連携しながら引き続き取り組んでいくこととします。

特に令和6年度は、新たにスマート化を目的とした新規補助事業を県及び独自財源を併せて創設するとともに、国の食料安全保障の目玉であり畜産経営の安定に資する自給飼料対策も独自に創設し、飼料自給率の向上を促進します。

こうした各種事業を効果的に進めることで、本県畜産の生産基盤の維持強化を進めていくこととします。（総務課 槌屋）

日本の酪農応援！地方競馬ミルクウィーク2024実施！



牛乳・乳製品の消費の低迷が懸念される3月に、その消費拡大の一助となるべく、地方競馬が一丸となった取組み「地方競馬ミルクウィーク2024」を実施しました。

期間中（令和6年3月14日～20日）は、全国の地方競馬場で地域の牛乳・乳製品の配布や冠レースを実施、牛乳・乳製品の消費拡大につながるPR活動を通じて日本の酪農を応援しました。

船橋競馬場では、場内開催時期とミルクウィーク実施期間とが合わなかったため、場外開催にて実施、3月15日に競馬場来場者へ牛乳及びヨーグルトの配布を行いました。（企画課 飯沼）



【船橋競馬場】(3/15) 牛乳とヨーグルトのセット250名分を配布

令和6年度畜産協会事業推進体制

以下の体制で事業推進を図ります。よろしくお願いいたします。（総務課 槌屋）

◎理事会

会長理事	（非常勤）	森 英介
副会長理事	（非常勤）	5名
理事	（非常勤）	9名
専務理事	（常勤）	富田 耕太郎

◎委員会

- ◆家畜衛生業務評議委員会
- ◆養豚振興委員会

◎事務局

総務・企画部	部長 富田 耕太郎（専務理事兼務）	
総務課	調査役	槌屋 健太郎
	臨時職員	山中 美穂
	臨時職員	竹之内 幸子
企画課	主任技師	飯沼 大輝
	臨時職員	瀧口 麻美
	臨時職員	藤代 直子

事業部	部長 渡邊 和彦（衛生指導課長、経営・環境課長兼務）	
経営・環境課	主査	小倉 崇司
	嘱託職員	薫田 耕平
	嘱託職員	福島 達哉
衛生指導課	臨時職員	高橋 早苗
生産課	課長	金杉 文一
	嘱託職員	加藤 脩三
	臨時職員	高橋 真理
	臨時職員（ナイスポーク）	酒井 順子

◆新規職員紹介 【事業部 部長 渡邊 和彦】

この度、本協会に勤務させていただくことになりました渡邊と申します。

これまで、県職員として畜産課、家畜保健衛生所、畜産総合研究センター（八街、市原）、農業事務所などに家畜衛生の業務を中心として38年間勤務してまいりました。

本協会においても、家畜衛生対策事業を担当させていただきます。近年、家畜衛生分野では、高病原性鳥インフルエンザや豚熱やアフリカ豚熱など重大な伝染病への対応、慢性疾病への対応など非常に厳しい状況になっていると思いますが、各種協会事業を通じ、家畜保健衛生所、畜産関係団体と連携しながらできる限り支援をしていきたいと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。

◎畜産団体事務局

★千葉県養蜂協会 担当：総務課 槌屋	★千葉県CSF感染拡大防止対策協議会 担当：事業部 渡邊
★ちば畜産レディースネットワーク 担当：総務課 槌屋	★NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター 担当：経営・環境課 薫田
★千葉県馬事畜産振興協議会 担当：企画課 飯沼	★千葉県自家検定推進協議会 担当：生産課 金杉
★千葉県畜産物消費拡大推進協議会 担当：経営・環境課 小倉	★チバザポーク販売推進協議会 担当：生産課 金杉
★チバザビーフ協議会 担当：経営・環境課 小倉	★ナイスポークチバ推進協議会 担当：生産課 加藤

（公社）中央畜産会からのお知らせ

畜産現場の“今”を30分の番組にしました！
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください！
配信中の内容：総集編 若き情熱！全国和牛能力共進会 特別区／畜産DX特集 総集編 養鶏・養豚の今に迫る／コントラクターと連携 大分県高田牧場／他

◀スマートフォンからはこちら
▼パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産

（公社）中央畜産会 経営支援部（情報） TEL03-6206-0846

畜産映像情報

がんばる！畜産！7

畜産映像情報

がんばる！畜産！7

令和6年度 千葉県畜産関係機関一覧表①

■農林水産部

〒260-8667 千葉市中央区市場町 1-1

TEL	職名	氏名
043-222-2800	部長	前田 敏也
043-223-2801	生産流通戦略担当部長	座間 勝美
043-223-2803	次長	藤井 浩一
043-223-2804	次長	堀越 明
043-223-2805	次長	小野 勉

■畜産課

〒260-8667 千葉市中央区市場町 1-1
FAX: 043-222-3098

部署・TEL	職名	氏名
043-223-2931	課長	大澤 浩司
043-223-2929	副課長(事)	森原 宏史
043-223-2930	副課長(技)	菊地 里佳
企画経営室 043-223-2926 043-223-2927 043-223-2777 043-223-2921	主幹兼室長	山崎 直
	主幹	丸山 武則
	主査	寺尾 寧子
	副主査	青木 朋子
	副主査	小池 広明
	副主査	鈴木 良平
	技師	宮田 鮎美
	技師	志賀 彩加
生産振興班 043-223-2939	主事	加藤 丈太郎
	主事	田中 勇輝
	班長	有路 優子
	主査	小林 夏奈子
	副主査	竹尾 駿
	副主査	川瀬 晶
環境飼料班 043-223-2943 043-223-2944	技師	野口 航平
	技師	村田 遥夏
	班長	野村 俊介
	主査	田仲 景士郎
家畜衛生対策室 043-223-2923 043-223-2938	主査	佐野 実乃里
	技師	寺崎 亮太
	副技監兼室長	江森 美香
	主幹	猪俣 一陽
BSE 対策本部 043-223-3084	副主幹	吉田 喜一郎
	主査	高橋 隆太
	主査	橘 美奈子
	副主査	三浦 良彰
	技師	阿部 久瑠美

■担い手支援課

〒260-8667 千葉市中央区市場町 1-1
FAX: 043-201-2615

部署・TEL	職名	氏名
043-223-2900	課長	森本 修司
農業経営支援班	班長	雲内 浩平
専門普及指導室 043-223-2912	副技監兼室長	鈴木 純也
	上席普及指導員	野中 太輔

■中央家畜保健衛生所

〒262-0011 千葉市花見川区三角町 656
TEL: 043-250-4141 FAX: 043-286-0090

部署	職名	氏名
	所長	小川 明宏
	次長	櫻井 紀夫
庶務課	課長	寺田 賢二
	主事	鈴木 悠介
衛生指導課	課長事務取扱	櫻井 紀夫
	上席専門員	猪熊 道仁
	専門員	渡邊 世奈
	専門員	岡本 みさき
防疫課	主任技師	中村 みどり
	課長	森田 秀雄
	専門員	八木 健
	専門員	石原 裕介
	主任技師	角田 千春

〒285-0072 佐倉市岩富町 497

TEL: 043-498-1431 FAX: 043-498-1475

部署	職名	氏名
病理生化学課	次長	松本 敦子
	課長	石原 勇人
	専門員	松原 芳絵
	主任技師	清水 耕平
	技師	島田 果歩
	技師	巖真 卓也
細菌ウイルス課	課長	大坪 岳彦
	上席専門員	西川 潤
	上席専門員	新居 友明
	専門員	本多 芙友子
	技師	後藤 花菜
	技師	金田 純直

■東部家畜保健衛生所

〒283-0064 東金市川場 1105-3

TEL: 0475-52-4101 FAX: 0475-52-3335

部署	職名	氏名
	所長	藤野 晴彦
	次長	千葉 耕司
	主幹	石川 直子
衛生指導課	課長	片山 雅一
	副主幹	平畠 淳
	上席専門員	佐多 美香
	上席専門員	綿村 崇宏
	専門員	佐々田 由美子
	主任技師	中橋 冬陽
	主事	内藤 美咲
	技師	蒲生 汐理
	課長事務取扱	千葉 耕司
防疫課	上席専門員	菅 賢明
	上席専門員	進藤 彰
	専門員	山桐 慶之
	専門員	濱田 恭平
	主任技師	醍醐 由香里

令和6年度 千葉県畜産関係機関一覧表②

■南部家畜保健衛生所

〒296-0033 鴨川市八色 52
TEL:04-7092-2304 FAX:04-7092-1434

部署	職名	氏名
	所長	市沢 三香
	次長	木下 智秀
衛生指導課	課長事務取扱	木下 智秀
	副主幹	本橋 優哲
	上席専門員	末政 奈津美
	上席専門員	矢嶋 真二
	専門員	竹鼻 一也
	技師	土肥 世生
	技師	穴戸 陽祐
	技師	田中 なほ子
防疫課	課長	田中 なほ子
	上席専門員	細野 真司
	専門員	佐藤 沙樹
	技師	高貫 秀幸
	技師	吉浦 風輝

■北部家畜保健衛生所

〒287-0004 香取市岩ヶ崎台 12-1
TEL:0478-54-1291 FAX:0478-54-5996

部署	職名	氏名
	所長	江森 格
	次長	笠井 史子
衛生指導課	課長	武石 佳夫
	上席専門員	萩原 妙子
	副主査	青手木 真希
	専門員	小山 祐介
	専門員	諸岡 佳恵
	専門員	五十嵐 直子
	技師	知念 ふじの
	技師	知念 ふじの
防疫課	課長事務取扱	笠井 史子
	上席専門員	塚原 涼子
	上席専門員	上林 佐智子
	専門員	不破 友介
	主任技師	畑中 ちひろ
	技師	高梨 優希
	技師	赤澤 珠季
	技師	赤澤 珠季

■畜産総合研究センター

〒289-1113 八街市八街へ 16-1
TEL:043-445-4511 FAX:043-445-5447

部署	職名	氏名
	センター長	島田 純
	次長(事)	掛巢 拓夫
	次長(技)	市原 裕二
	主幹	森 知夫
	主幹	森 知夫
総務課	課長事務取扱	掛巢 拓夫
	副主幹	川本 一俊
	副主査	柴田 静
	主事	丸山 智恵子
	主事	丸山 智恵子
	主事	前屋 優希

部署	職名	氏名
企画環境研究室	室長	齊藤 健一
	上席研究員	松本 友紀子
	上席研究員	関野 友利華
	上席研究員	中代 浩之
	上席研究員	長谷川 輝明
	上席研究員	名取 美貴
	研究員	山崎 藍子
	研究員	岡庭 就祐
乳牛肉牛研究室	室長	大塚 洋功
	主任上席研究員	川嶋 賢二
	上席研究員	倉地 充
	上席研究員	小林 大誠
	研究員	行川 貴浩
	研究員	三根 琴美
	研究員	尾崎 望未
	研究員	尾崎 望未
養豚養鶏研究室	室長	嶋村 和彦
	研究員	松本 千明
	研究員	小形 次人
	研究員	井出 深
	研究員	能瀬 祥吾
	研究員	小野寺 道寛
	研究員	小野寺 道寛
	研究員	藤平 涼央

■畜産総合研究センター 市原乳牛研究所

〒290-0531 市原市国本 602

TEL・FAX	職名	氏名
TEL: 0436-96-1231 FAX: 0436-96-0956	所長	渡辺 聡
	主幹	平尾 明
	主任上席研究員	青木 大輔
	主任上席研究員	村中 洋美
	主査	高柴 正和
	上席研究員	久保田 尚
	研究員	小高 宏貴
	研究員	小倉 和也

■畜産総合研究センター 嶺岡乳牛研究所

〒299-2507 南房総市大井 686

TEL・FAX	職名	氏名
TEL: 0470-46-3011 FAX: 0470-46-3012	所長	永福 和明
	副主幹	和田 康代
	上席研究員	関根 大介
	研究員	山口 敦子
	研究員	斎藤 孝太郎
	研究員	斎藤 孝太郎
	研究員	富松 大智
	研究員	富松 大智

令和6年度 千葉県畜産関係機関一覧表③

■千葉農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒266-0014	主査	柴田 るり子	043-300-1985	043-293-3916
改良普及課	千葉市緑区大金沢町 473-2	普及指導員	岸田 雅弘	043-300-0950	043-293-2710

■東葛飾農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒277-0861 柏市高田 990-1	主査	君塚 時江	04-7143-4121	04-7144-8260
改良普及課	〒277-0005 柏市柏 255-1	主任上席普及指導員	渡辺 博剛	04-7162-6151	04-7162-6154

■印旛農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒285-0026 佐倉市鎭木仲田町 8-1	主査	伊藤 香葉	043-483-1129	043-485-9502
		主事	鈴木 恵		
改良普及課		主任上席普及指導員	伊藤 静雄	043-483-1124	043-485-9502
		普及技術員	並木 理莉		

■香取農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒287-0003 香取市佐原イ 92-11	副主幹	小林 正和	0478-52-9192	0478-54-5617
		技師	福島 菜月		
改良普及課		上席普及指導員	綿貫 俊貴	0478-52-9195	0478-55-1703
		普及技術員	清田 涼雅		

■海匝農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒289-2504 旭市二 1997-1	副主査	吉田 早希	0479-62-0156	0479-64-2502
		技師	三木 洵那		
改良普及課		普及指導員	村田 美里	0479-62-0334	0479-62-4482
		普及技術員	熱田 麻衣		

■山武農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒283-0006 東金市東新宿 1-11	副主査	中原 祐樹	0475-54-1122	0475-55-8614
		技師	菊山 亮		
改良普及課		普及技術員	南村 昌孝	0475-54-0226	0475-52-7914

■長生農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒297-0026 茂原市茂原 1102-1	副主査	羽深 真里	0475-22-1751	0475-26-2234
改良普及課		普及技術員	川津 夕夏	0475-22-1771	0475-25-2061

■夷隅農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒298-0212 夷隅郡大多喜町猿稻 14	副主査	中山 妙子	0470-82-4956	0470-82-5348
改良普及課		普及指導員	後藤 衛	0470-82-2213	0470-82-3975

令和6年度 千葉県畜産関係機関一覧表④

■安房農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒294-0045 館山市北条 402-1	技師	山本 啓悟	0470-22-7131	0470-22-0097
		技師	堀口 聖也		
改良普及課		上席普及指導員	新垣 裕子	0470-22-8132	0470-22-0097
		普及技術員	中橋 春香		

■君津農業事務所

課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒292-0833	技師	谷川 光	0438-25-0107	0438-23-6698
改良普及課	木更津市貝渕 3-13-34	普及技術員	櫻沢 実奈	0438-23-0299	0438-23-6698

スマート畜産推進事業

本年度から肉用牛及び養豚経営における生産性向上及び労働時間短縮に資するために、飼養管理機械・装置の導入に対し支援する事業が始まります。

事業要件は、労働時間10%削減又は生産性10%以上向上する改善計画が必要で、補助率は事業費の1/3以内。県単独補助事業で前述経営においては当協会が窓口となります。

詳細はお問い合わせください。（生産課 金杉）

肉用子牛生産者補給金制度

本制度は肉用子牛の価格が低落した場合に、生産者補給金を交付し、肉用子牛生産の安定等を図ることを目的としております。加入を希望する方は事務局までお問い合わせください。

また、契約者死亡、経営中止、経営移譲、個人から法人への移行等、現在の契約に変更が生じた場合は、速やかに事務委託先を通じて報告をお願いいたします。（経営・環境課 小倉）

◆肉用子牛の保証基準価格・合理化目標価格及び発動状況

（単位：円／頭）

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格	556,000	507,000	325,000	164,000	274,000
合理化目標価格	439,000	400,000	256,000	110,000	216,000
5年度 第4四半期※	平均売買価格※※	562,200	585,300	232,100	173,600
	補給金単価	-	-	90,510	-

※ 「その他の肉専用種」については、令和2年度から算定期間を1年（4月～3月）としている。

※※「平均売買価格」については、指定家畜市場における指定肉用子牛の取引価格から算出。

◆生産者積立金単価及び負担割合

（単位：円／頭）

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
生産者積立金	1,600	6,000	18,800	6,800	3,200
国（機構）（1/2）	800	3,000	9,400	3,400	1,600
県（1/4）	400	1,500	4,700	1,700	800
生産者（1/4）	400	1,500	4,700	1,700	800

肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）

本制度は、肥育牛1頭当たりの標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、肉用牛の生産者に対し、その差額の9割を交付金として交付することにより、肉用牛の生産者の経営に及ぼす影響を緩和することを目的としています。肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）に加入して経営の安定を図りましょう。（企画課 飯沼）

◆交付金の交付状況

（単位：円／頭）

区分		標準的販売価格 (A)	標準的生産費 (B)	差額 (C) = (A) - (B)	交付金単価 (D) = (C) × 0.9
令和5年 10月	肉専用種	1,140,971	1,274,892	△133,921	120,528.9
	交雑種	689,805	746,692	△56,887	51,198.3
	乳用種	473,651	467,169	6,482	-
令和5年 11月	肉専用種	1,212,023	1,278,169	△66,146	59,531.4
	交雑種	717,137	735,149	△18,012	16,210.8
	乳用種	472,765	457,114	15,651	-
令和5年 12月	肉専用種	1,258,713	1,281,222	△22,509	20,258.1
	交雑種	782,277	729,127	53,150	-
	乳用種	469,781	477,262	△7,481	6,732.9
令和6年 1月	肉専用種	1,203,733	1,253,167	△49,434	44,490.6
	交雑種	747,355	737,535	9,820	-
	乳用種	464,642	482,193	△17,551	15,795.9
令和6年 2月	肉専用種	1,196,825	1,256,406	△59,581	53,622.9
	交雑種	742,851	721,035	21,816	-
	乳用種	460,812	481,496	△20,684	18,615.6
令和6年 3月	肉専用種	1,179,873	1,279,063	△99,190	89,271.0
	交雑種	759,838	728,814	31,024	-
	乳用種	457,282	496,705	△39,423	35,480.7

注：肉専用種は千葉県単価。また、交付金は1円単位で交付。

◆令和6年度の登録肉用牛1頭当たりの負担金単価

品種区分	肉専用種	交雑種	乳用種
負担金単価	16,000 円／頭	13,000 円／頭	10,000 円／頭

注：肉専用種においては、千葉県の負担金単価。（交雑種及び乳用種は全国一律）

酪農家・肉用牛農家の皆様へ

牛トレーサビリティ制度 あなたの牛は大丈夫？

☆牛の出生や異動の届出は、速やか、かつ正確に行いましょう！

- ①牛の管理者には、牛トレサ法に基づく耳標の装着及び各種届出が義務づけられています。
- ②届出をせず、又は虚偽の届出をした場合には、牛トレサ法に基づく罰則の対象となります。
- ③さらに、各種補助金の対象から除外されたり、返還を求められる場合もあります。



牛トレーサビリティ制度に 関するお問い合わせは…

・関東農政局 消費・安全部 畜水産安全管理課 TEL:048-740-5066
 ・関東農政局 千葉県拠点 TEL:043-380-0778



チバザビーフ便り

チバザビーフ協議会

☆第14回チバザビーフ枝肉共励会開催！【東京都中央卸売市場食肉市場】（2024/3/27）

■出品頭数

黒毛和種 46頭（去勢32頭、雌14頭）

交雑種 37頭（去勢26頭、雌11頭） 計83頭

■黒毛和種の部

区分	上場番号	生産者名称	性別	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cm ²)	枝肉単価(円/kg)	枝肉金額(円)	褒賞
最優秀賞	75	(株)高梨牧場	去勢	577	100	2,832	1,634,064	農林水産大臣賞 千葉県知事賞 千葉県畜産協会会長賞
優秀賞 1席	78	(株)高梨牧場	去勢	488	86	2,724	1,329,312	東京食肉市場株式会社 社長賞
優秀賞 2席	87	小林 将男	去勢	593	86	2,694	1,597,542	日本食肉格付協会会長賞
優良賞 1席	64	那須 幸一	去勢	583	96	2,603	1,517,549	千葉県家畜商協同組合 理事長賞
優良賞 2席	81	(株)大川畜産	去勢	618	116	2,737	1,691,466	千葉県肉牛生産農業協同 組合会長賞

■交雑種の部

受賞	上場番号	生産者名称	性別	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cm ²)	枝肉単価(円/kg)	枝肉金額(円)	褒賞
最優秀賞	114	(株)マルコファーム	去勢	708	72	1,725	1,221,300	関東農政局長賞 千葉県知事賞 千葉県畜産協会会長賞
優秀賞 1席	126	伊藤 茂雄	去勢	689	75	1,665	1,147,185	東京食肉市場株式会社 社長賞
優秀賞 2席	133	(株)宇井畜産	雌	494	65	1,615	797,810	全国畜産農業協同組合連 合会会長賞
優良賞 1席	118	(株)サンファーム牛屋	去勢	621	64	1,688	1,048,248	全国農業協同組合連合会 千葉県本部長賞
優良賞 2席	129	嶋田 良雄	去勢	640	72	1,618	1,035,520	千葉県と畜場協会会長賞

☆和牛の新銘柄「千葉牛」！

チバザビーフ協議会の千葉牛部会では令和6年3月23日に京成ホテルミラマーレで千葉牛設立記念パーティー（参加生産者34戸）を開催しました。黒毛和種のブランドとして「千葉牛」を掲げ、肉質4等級以上の枝肉を基準として、県下統一銘柄を目標に活動していくこととしています。



イベント情報等の詳細はこちらから！

<http://chibathebeef.jp/> ▼

うまい牛肉

チバザビーフ



NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信

1. 令和5年度の主な事業活動と6年度事業計画（案）

NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンターにおける令和5年度の主な事業活動状況及び令和6年度計画（案）について紹介します。

【事業概要】

令和5年度は前年に引き続き異常気象や円安、ウクライナ、レバノン情勢等も絡み、物価高騰等が続き畜産経営を圧迫して畜産農場の長期的な影響が懸念される状況にありました。

一方、アジアで猛威を振るっている口蹄疫やASFは韓国、タイ、中国等のアジア周辺諸国において、引き続き発生しており、国内への侵入リスクは依然として高い状況でした。

このため、千葉県畜産協会の指導の下、農場HACCP推進指導事業等を通じて飼養衛生管理の向上等の指導・支援に努めるとともに畜産経営の向上、消費者への農場HACCPの理解と消費の拡大を推進しました。

（1）農場HACCP構築指導（令和4～6年度）

千葉県畜産協会からの依頼に基づき農場HACCP認証構築及び維持を希望する農場へ指導員を派遣し、文書作成や教育訓練、内部監査等の指導・支援を行いました。

○認証構築指導・支援：17農場、認証維持支援：52農場（合計69農場）

○指導員：農場HACCP指導員20名（延513人派遣）

また、千葉県立農業大学校は令和6年4月22日付けで農場HACCP認証【乳用牛・肉用牛、豚、採卵鶏】の3畜種を同時に取得、3畜種同時は農業大学校では全国で初めてです。

なお、認証460農場（農林水産省発表：4月22日現在）のうち千葉県は73農場、このうち本事業により指導した農場は62農場となります。

◎6年度：引続き、希望する畜産農場への認証構築及び認証維持の指導を推進します。

（2）死亡牛等の受入及び保管等補助業務受託（千葉県：公募事業3,674千円）

中央家畜保健衛生所（佐倉）で実施する死亡牛等（96か月以上の死亡牛）の受入及び保管等の業務を補助する事業で、平成27年から取り組んでいます。（会員4名・167日派遣）

◎6年度：BSE検査が改正され、BSEが疑われる死亡牛（獣医師診断）のみ検査することになり、該当する死亡牛が少なくなることから、本事業は5年度で終了となりました。

（3）JGAP認証構築指導支援

県畜産課及び千葉県畜産協会の要請に基づき希望農場へ農業事務所等と構築支援する体制をとっていましたが、新たに希望する農場はありませんでした。

◎6年度：県、農場等から要望があれば積極的に推進します。

（4）外国人研修生等を対象とした衛生研修会の開催

千葉県畜産協会単独事業による外国人従事者等を対象とした衛生研修会（出前講座）で、従事者の飼養衛生管理の理解向上に努めています。



○外国人技能実習生用パンフレット配布：クメール語、インドネシア語、モンゴル語、タガログ語（翻訳専門業者に依頼）

○外国人研修生向け衛生研修会の開催（通訳付等）

4養豚農場：モンゴル 3名、タイ・ベトナム 8名、ベトナム 4名、中国 2名

3酪農農場：タイ 9名

外国人技能実習生を対象とした出前講座（合計：延べ26名）

◎6年度：前年と同様に外国人研修生等を対象とした出前講座、パンフレット配布予定です。

(5) 消費者交流・動物情操教育事業

千葉県畜産フェアに参加（11月3日、三井アウトレットパーク木更津）、会員4名の協力を得て農場HACCPパネル展示及びパンフレットの配布、消費者アンケート調査及び牛乳・菓子等の出展支援を行いました。

2. ロゴマークの決定

第2回畜産研修会時（令和6年2月22日、千葉市民会館にて開催）に新城理事長から、当NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンターのロゴマークの紹介がありました。名刺やパンフレット等にご活用願います。

ロゴマークデザイン作成者は会員の松木英明様です。



3. 令和6年度総会・畜産研修会の開催

総会・第1回畜産研修会を下記のとおり開催します。皆様方に於かれましては是非参加くださいますようお願い申し上げます。

日時:令和6年6月28日(金) [総会]13時30分～ [畜産研修会]14時30分～

場所:千葉市民会館4階「第3・第4会議室」(千葉市中央区要町1番1号 電話:043(224)2439)

議事:第1号議案 令和5年度事業報告並びに収支決算報告の承認について

第2号議案 令和6年度事業計画(案)並びに令和6年度収支予算(案)の承認について

第3号議案 会費の額及び納入日について

演題:①「最近の家畜衛生をめぐる情勢」

(講師)農林水産省 消費・安全局 動物衛生課 家畜防疫対策室長 大倉 達洋 様

②仮題「令和6年度主要政策について」

(講師)千葉県農林水産部 畜産課 企画経営室 丸山 武則 様

なお、畜産研修会終了後（16時30分頃）、講師を囲んでの情報交換会を予定しておりますので、是非こちらもご参加ください。

4. 会員状況及び会員募集中

当NPOでは、千葉県内で畜産業を営む農家に対し、経営、飼養管理、家畜衛生等の技術を持つ人材の情報を提供し、経営を支援する事業を行うとともに、一般消費者への県内産畜産物消費拡大や児童生徒への動物ふれあい情操教育活動の場を作り、県内畜産振興並びに県民への畜産に対する理解を深めることを目的として活動を行っています。

○現会員数:80名 (内訳 個人65名、団体12団体、賛助3団体)

○令和5年度新規加入:個人会員 4名

入会申し込みや畜産に関するご相談等をお待ちしております！

お問い合わせ：NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター事務局（千葉県畜産協会内）

TEL：043-241-1738 FAX：043-238-1255

わたしたち森久保薬品は
人と動物の「これから」を真剣に考えています。

 **森久保薬品株式会社**
<http://www.morikubo.co.jp>



1. 羽田空港動物検疫広報キャンペーン参加！ (2024.2.7)

羽田空港第3ターミナルにおいて、農林水産省動物検疫所及び植物検疫所による合同キャンペーンに（一社）日本養豚協会（JPPA）が参加したことから、ナイスポークチバ推進協議会もこれに応援・協力いたしました。

同キャンペーンでは、中国の旧正月（春節）に合わせ、海外から持ち込みが禁止されている畜産物（肉製品）の注意喚起を毎年実施しています。昨年の同じ時期や2019年のコロナ前と比べても渡航者及び訪日者が多く推移しており、中国をはじめASFリスク国への便が羽田空港より離発着していることから、アジア地域を中心に注意喚起を促しました。



2. 令和5年度第2回 関東養豚協議会開催！ (2024.2.8)

関東8県（神奈川・千葉・茨城・栃木・群馬・埼玉・山梨・長野）で創る関東養豚協議会の活動は、共通の話題から問題点を探り、将来の安定した養豚経営をめざし意見交換をする場として年2回開催しています。令和5年度は神奈川県を幹事県とし、神奈川県立かながわ労働プラザ多目的ホールにおいて開催、8県より32名が出席しました。

各県からの現状報告がされた後、千葉県からと畜検査料金について提案したところ、埼玉県では生産者の知らぬ間に県条例で定める料金が340円に値上がったとの情報を受けました。

この問題は、関東各県に影響がすることから検査料金値上げがなされないよう、常に意識を持って行動するようお願いいたしました。

また、関東青年部の位置づけについて協議した結果、活動の協力・推進が決定しました。

と畜検査料金（円/頭）	県 名
300	神奈川・群馬・千葉
310	栃木・茨城・長野
320	山梨
340	埼玉

3. 熊谷千葉県知事との第2回情報交換会開催！ (2024.2.28)

千葉県知事との養豚懇談会が千葉市内において開催され、協議会から三役と女性理事を加え8名が参加しました。

懇談内容は特に定めず養豚関連の話題では、①畜産現場における獣医師不足（待遇改善による獣医師の確保）、②消費拡大のためのPR活動とブランド名（ネーミングはカタカナより漢字）、③他県との消費拡大のためのコラボなど、有意義な情報交換会となりました。次回は豚・豚肉について意見を交わし、トップセールスをお願いすることで消費拡大に繋げたいものと考えます。



4. 第34回養豚振興プロジェクト委員会開催！ (2024.3.18)

5年ぶりとなる消費者団体・千葉県消費者団体連絡協議会（会長：和田三千代）との意見交換会を千葉市内ホテルプラザ菜の花において開催、我孫子市、柏市、習志野市、四街道市の各消費者組織代表10名の方に出席いただきました。

千葉県の養豚の現状を報告した後、①堆肥の処理、②県産豚肉の販売・購入、③豚の病気への関心度、④県産豚肉販売情報、⑤食料・農業・農村基本法の改正、⑥美味しい豚肉、⑦飼料の自給率、⑧消費者の方々への投げかけ、⑨意見交換会の感想と盛りだくさんの内容で養豚農業を知っていただく有意義な会となりました。



5. 自民党養豚農業振興議連総会開催・JPPA要請！ (2024.3.19)

食料・農業・農村基本法が本国会で改正に向けた審議をされることから、（一社）日本養豚協会（JPPA）は養豚農業振興議連総会開催に際し、要請書を提出しました。

総会では森山会長より「本国会で農政の憲法といわれる食料・農業・農村基本法の改正の成立は急務である。食料安全保障で最も重要なことは農家が意欲を持って再生産に取り組めるかであり、生産したものが適正な価格で販売できるかがポイントとなる。」と挨拶、以下の内容について要請しました。



- （１）食料・農業・農村基本法の見直しに沿った養豚農業の振興
- （２）飼料、燃料、光熱費など生産費用高騰へのセーフティネット
- （３）衛生・疾病対策の強化
- （４）と畜場・飼料工場など畜産インフラの整備
- （５）循環型社会や低環境負荷社会を実現するための畜産環境対策
- （６）自然災害からの復旧復興と災害に強い生産基盤の構築

6. 3部会（衛生・経営・環境）合同会議開催！ (2024.4.1)

令和5年秋に活動をスタートさせた3部会（衛生・経営・環境）の合同会議が旭市内で開催され、取り組みの経過と今年度の推進方策の検討を行いました。

特に、経営部会の柱であるベンチマーキング推進については、提出された2022年のデータを分析した北田部会長から、「例数は少ないが、生産立地が良いとされながらも飼料費は決して安くない。また衛生費、事故率が極端に高い数値が出ている。」と指摘。生産費の約6割を占める飼料費軽減と衛生費を下げる努力を促しました。



ナイスポークチバ推進協議会
事務局

公益社団法人千葉県畜産協会 事業部（担当：加藤）
TEL:043-241-3851 FAX:043-238-1255



畜産に学びの場を。

FARMinar ファーマナー

お客さま専用オンライン情報配信サービス

POINT1

どこからでも参加できる
オンラインセミナー

POINT2

専門家による飼養管理や
農場運営に役立つコラム







チバザポーク便り

チバザポーク販売推進協議会

☆スーパーマーケット・トレードショー2024に出展しました！



- 開催日時: 令和6年2月14日(水)～16日(金)
- 開催場所: 幕張メッセ

千葉県ブースにチバザポーク(柏幻霜ポーク・オリヴィアポーク・恋する豚)、旭食肉協同組合(千葉県産いも豚)が出展、ちばの豚肉をPRしました。



イベント情報等詳細はこちらから！ ▶ <https://chibathepork.jp/>

「食の安全・安心」のための第1歩は、
「法令遵守」であることを改めて認識してください。



地方競馬の収益金は畜産の振興に役立てられています！

- ・酪農、肉用牛、中小家畜など家畜の生産対策に関する事業
- ・生産された家畜や畜産物等の流通改善のための事業
- ・家畜の飼養環境改善事業 など

部 署		TEL	FAX
総務・企画部	総 務 課	043-242-5417(代)	043-238-1255
	企 画 課	043-242-6333	
事業部	経営・環境課	043-241-1738	
	衛生指導課	043-241-1738	
	生 産 課	043-241-3851	

Eメール: info@chiba.lin.gr.jp

URL <http://chiba.lin.gr.jp>